

都立南多摩中等教育学校 教科シラバス
4 年 地球探究 単位数：2 単位
教科書：使用しない 副教材：新詳地理資料 COMPLETE 2021（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）

学習目標

本校の社会科の目標
我が国の成り立ちや歴史的過程の生活・文化の特色についての理解と認識を深め，国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

第4学年の目標
現代世界の地理的事象を系統地理的に学び，現代世界の諸地域を歴史的背景も踏まえて地誌的に考察することによって，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培う。
人間が、過去に行ってきたこと、現在行っていることと自然環境とのかかわりについて探究する姿勢を身につける。

学習方法

- (1) 予習
- ①資料集・地図帳を見る
- ②発表の内容は、さまざまな情報源を利用して自分で調べる
- (2) 授業
- 自ら積極的に授業に参加し、理解に努める
- 自分の発表では工夫を凝らした内容を分かりやすく発表し、他者の発表は真摯な態度で聴く
- (3) 復習
- 理解したことをノートにまとめる

評価の観点・方法

以下の4観点に基づき，生徒一人一人の学習状況を学期ごとに評価します。

観点① 関心・意欲・態度	○資料集に載っている現代世界の諸事象に関心をもち、地理的に考察するために必要な知識を身に付けようとする意欲・態度がみられるか。 ○資料集にも載っていない最新の地理的事象にも関心をもち、なぜそのようなことが起きているのかを探究しようとする意欲・態度がみられるか。
観点② 思考・判断・表現	○現代世界の地理的事象のなかから自分の課題を見出し、それに自然環境がどのような影響を与えているかを考察し、自分の考えとしてまとめることができるか。また、その内容を他の生徒に対してわかりやすく説明できるか。
観点③ 資料活用の技能	○GIS(地図情報システム)などの技法を利用して、自分の発表に使う資料を作成することができるか。必要な統計資料を選択し、活用することができるか。
観点④ 知識・理解	○地図の図法と用途、歴史的な地図に現れる世界観について理解したか。 ○現代世界の諸事象を地理的に考察するために必要な基礎的な知識を身に付けたか。 ○災害の原因となる自然現象の発生の仕組みや災害発生時に自助・共助のためになすべきことを理解できたか。

評価の方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察	○	○		
発表の内容と他者の発表の聴き方	○	○	○	
課題などへの取り組み		○	○	○
定期考査	◎	◎	◎	◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・規模や形成要因の違う様々な地形を取り上げて、その分布や形成要因などの基礎的知識や概念を習得する。 ・気温、降水量、大気大循環、海洋や水の循環を取り上げ、それぞれの地域の気候がかたちづくられた要因を考察し、理解する。 ・地形や気候と密接な関連を持つ第一次産業について学習し、人間の活動に自然環境がどのような影響を及ぼしているかを理解する。 ・地球上の位置と国家について学び、グローバル化が進んでいることを理解する。 ・期末考査後に、調べ学習のテーマを各自（二人一組）で設定する。	《学習内容》 ・自然環境 ・第一次産業 ・地球上の位置 ・国家とグローバル化 《教材》 ・プリント ・資料集 ・プレートテクトニクスや大気の大循環については、地学の内容を採り入れて学習する。 ・どうやったら2点間の距離を求めることができるか、経度から時差を求めるにはどうしたらよいか、を学習する。	・4月30日に、4年生対象の宿泊防災訓練が行われるので、その前後の時間で自然災害のメカニズムについて学ぶ。
2 学 期	・諸地域の生活文化や地球的課題について、最低限必要な知識を習得し、資料集にも載っていない最新の情報にも、さまざまな媒体を介して接しようとする態度を身につける。 ・自分の考えをまとめ、わかりやすく発表するために、機材を使用したプレゼンテーションの技法を学ぶ。	《学習内容》 ・世界の諸地域の生活文化 ・複雑にからみ合う地球的課題 《教材》 ・プリント ・資料集 ・2学期は二人一組の発表形式の授業を20時間組み込むことを考えており、最低限身につけてもらいたい知識に関しては講義形式の学習で扱う。	
3 学 期	・毎年自然災害による被害が発生している日本の防災について学び、どうやって自分の身を守るか考える姿勢を身につける。 ・さまざまな時代の世界地図の読図により地球に関する認識の違いに気づき、人々の世界観の変化を理解する。 ・使用目的に応じて図法の異なる世界地図を使うことを理解する。 ・地図を用いた地域調査の技法について学ぶ。	《学習内容》 ・日本の自然環境と防災 ・地理情報と地図 ・地図と地域調査 《教材》 ・プリント ・資料集 ・GIS(地理情報システム)を利用してデータを地図上に表示する技術について学習する。	・1月17日、3月11日と大きな震災を引き起こした地震が起きた日が含まれる期間であり、マスコミでも防災について取り上げられることが多くなる。その内容も授業に採り入れていく。 ・前期課程の地域調査で使用した地図や発表に使用した地図を持っている生徒がいる場合には、その地図を持ってきてもらい、どういう目的で使用したのかを確認する。

学習のアドバイス

- 重要語句については正しく覚えること。
- 新聞やテレビのニュースを学習に活用し、自分なりに解説ができるようにすること。